

第3回路面下空洞対策連絡会

空から地表からインフラを診る

東京大学生産技術研究所 空から地表からインフラを診る研究会

2022年3月4日(金) オンライン

第3回路面下空洞対策連絡会

10:00-12:00

10:00 開会 趣旨説明

10:10 路面下空洞調査に関する技術評価の取組について

国土技術政策総合研究所 渡邊一弘

10:20 道路インフラ表面・地中モニタリングの最先端

東京大学 水谷司

10:40 北海道三笠市道道陥没の調査結果とメカニズム

土木研究所 林宏親

11:00 道路陥没ソリューションの開発

東京大学 桑野玲子

11:20 空洞対策取組事例 ー成熟都市における陥没対策の経験の共有と今後の連携ー

静岡市における路面下空洞対策の取組について

静岡市路保全課 鏡味志津枝

路面下空洞調査結果と衛星SARのアーカイブデータの

比較による実務利用に向けた検討

府中市都市整備部 楠本俊二郎

11:50 空から地表からインフラを診る

東京大学 竹内渉

12:00 閉会

空から地表からインフラを診る

合わせ技でインフラの脆弱性をあぶりだす

14:00-15:30

14:00 合成開口レーダーSARを用いた地盤変動探査技術の紹介とデモンストレーション

東京大学 竹内渉

15:00 SF-CWレーダーのデモンストレーション

東京大学 水谷司

15:30 閉会



要事前登録(無料)

<https://forms.gle/YyVTMFS75HwVLMUq5>

問合せ: 東京大学生産技術研究所 竹内研究室・桑野研究室・水谷研究室
事務局 担当 吉本 yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp



「第3回 路面下空洞対策連絡会」 ー合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有ー

【主催】東京大学生産技術研究所 空から地表からインフラを診る研究会

【後援】国土技術政策総合研究所（予定）

現在日本全国で年間1万件超の道路陥没が起きています。今後一層懸念される道路陥没への対応策が、“都市の危機管理における路面下空洞対策戦略会議（2017年8月～2018年5月）”にて7つの政令市の参加により議論され、“維持管理は危機管理”であること、路面下空洞対策の先行都市の経験の共有を促進することが対策の加速化につながることが確認されました。全国の都市の成熟化が進み中小都市においても陥没対策が必要となる流れの中で、各都市の知見・データや経験を共有・集約し、それらを活用するプラットフォーム構築の実践を目指し、2019年11月13日に第1回、2020年12月3日に第2回路面下空洞対策連絡会が開催されました。今回第3回の連絡会を開催し、全国の陥没対策に関わる施設管理者間で知見と経験の共有と、今後の連携の在り方について議論をさらに深めます。

日時：2022年3月4日（金） 10:00～12:00

場所：オンライン

10:00 開会・趣旨説明

10:10 路面下空洞調査に関する技術評価の取組について 国土技術政策総合研究所 渡邊一弘

10:20 道路インフラ表面・地中モニタリングの最先端 東京大学 水谷司

10:40 北海道三笠市道道陥没の調査結果とメカニズム 土木研究所 林宏親

11:00 道路陥没対策ソリューションの開発 東京大学 桑野玲子

11:20 空洞対策取組事例 ー成熟都市における陥没対策の経験の共有と今後の連携ー

路面下空洞調査結果と衛星 SAR のアーカイブデータの比較による実務利用に向けた検討

府中市都市整備部 楠本俊二郎

静岡市における路面下空洞対策の取組について

静岡市道路保全課 鏡味志津枝

11:50 空から地表からインフラを診る特別研究会 紹介

東京大学 竹内渉

12:00 閉会

【案内ウェブサイト】

<https://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/category/urcmlm/>

※ 要申込み（定員 500 名：先着順、お申込みはお早めに）

参加を希望される方は、上記 website より申込フォーム

（<https://forms.gle/YyVTMFS75HwVLMUq5>）にて3/3（木）までにお申込み下さい。

または、参加ご希望全員の氏名／ご所属／連絡先（メールアドレス）記載の上、下記アドレスまでメールをご送信ください。

問合せ・参加申込送付先：吉本（yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp、03-5452-6472）

「空から地表からインフラを診る」

-合わせ技でインフラの脆弱性をあぶりだす-

日本のインフラの多くが 1960 年台の高度経済成長期に集中的に整備されているため、およそ半世紀を経た現在、日本のインフラの老朽化が問題となっている。国土規模の路面・地下・橋梁・トンネル・鉄道のインフラストックに対して、点検と診断方法の多くは目視点検や打音調査が基本であり、熟練点検員の減少による人員不足は深刻な問題となっている。これらの問題を改善するために、産学官挙げてインフラ維持・管理に対して IoT 技術の有効活用が期待されている。このような背景の中、生産技術研究所では、「災害・環境リモートセンシング」「リアルタイム空間解析工学」「地盤機能保全工学」を専門とする研究者が連携し、空から地表からインフラを診る研究会を立ち上げます。具体的には、1) 宇宙からのリモートセンシングや空からのドローン撮影、地上・地中レーダー、モバイルマッピングレーザー、高解像度カメラなどの最先端の計測技術、2) AI・機械学習、デジタル信号処理による超高速解析・検知技術、3) 土質力学や地盤材料の力学特性に基づいた地中構造物や土構造物の長期挙動の診断技術、を複合的に組み合わせ、「空から地表からインフラを診る」技術の真に実務的な利用に資する研究を展開します。

日時:2022年 3月 4日 (金) 14:00~15:30

場所:オンライン

14:00 合成開口レーダーSAR を用いた地盤変動探査技術の紹介

とデモンストレーション 東京大学 竹内渉

15:00 SF-CW レーダーのデモンストレーション

東京大学 水谷司

15:30 閉会

※参加ご希望の方は、事前登録が必要です。(https://ohow.iis.u-tokyo.ac.jp/)

※「第3回路面下空洞対策連絡会」と事前登録、当日配信 URL は、同じとなっております。

登録フォーム: <https://forms.gle/YyVTMFS75HwVLMUq5>

問合せ:東京大学生産技術研究所 竹内研究室、桑野研究室、水谷研究室

担当: 吉本 yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp
<https://ohow.iis.u-tokyo.ac.jp/>